

茨城県常陸太田市立佐竹小学校（学校長 石井 徳有）

実施日	平成20年1月28日（月）	時間	午前9時30分～午後1時
実施場所	体育館、視聴覚室、PC室、会議室、6学年教室	対象/人数	6年生72名
担当教諭	岩間 満子	ファシリテーター	根本 久美子
講師	張 帆（中国・留学生） オレリアン・パロン（フランス 県国際交流員） パーコフィー・エイキンス（ガーナ）		

活動内容

中国/フランス/ガーナそれぞれのコーナーあいさつ、習慣、言葉、文化についての話・民族衣装や民族楽器の体験ワークショップ『地球家族』/ふれあいランチタイム

児童の感想

・とても楽しかったです。ガーナ共和国のパコフィさんに暮らしについて話をさせていただきました。日本と違った生活をしていました。私も一人で朝食を作ったりできるようになればいいなと思いました。

・中国の張帆さんに写真を見せてもらったり、生活の様子を話してもらったりしました。中国語でありがとう、こんにちをなどを教えてもらいました。漢字クイズは、自分でもわからない問題を男子が次々と答えていくので、驚きました。最後に、わたしもきちんと「謝謝」ということができました。

・フランスのパロンさんにクロワッサンの名前の由来などについて教えていただきました。パロンさんのおかげでフランスのことがもっと知りたくなりました。最後にやったパフォーマンスがおもしろくて、思わず大笑いしてしまいました。

・最後に最も豊かだと思国をみんな一つずつ選びました。私は、貧しいけれど心が豊かな国にしました。家族みんなが幸せそうな笑顔で、自然の命を大切にしている国でした。便利なものがたくさんあってお金がたくさんあって豊かだというより笑顔があふれて命、家族を大切にしているところのほうがとっても心豊かだと思いました。世界の人たちと話し、世界のことをよく知ることができたので、いい思い出になり、心に残りました。

先生の感想

・自分たちと同世代の人が、「どのようなものの考え方をして、どんな生活をしているか」などを知ることができたことは、価値のあるものであった。ふだん接する機会のない外国の方々に直接ふれ合うことのできた貴重な体験であったとともに、遠い外国に住む同世代の子どもたちのことを

思い、身近に感じることでできたすばらしい時間であった。ワークショップで、子どもたちの考えた「本当の豊かさ」は、「家族を大切にすること」「笑顔のある生活」「自然とともに生きる」など、「心や自然環境の豊かさ」であることに気づくことができた。また、友達の考えがたくさんあり、普段の友達とはまた違った友達発見ができて感激していた。今後は、今までの自分たちの生活を振り返り、よりよく生きていこうとする態度などを育てていきたい。3人の講師の方々はもちろん、ファシリテーターの根本さんのお話からも多くの示唆を与えていただいたり、子どもたちの豊かな考え方を引き出していただいたりした。

成果と課題

・普段なかなか触れ合うことのできない外国の方たちと接し、それぞれの国々の言葉、文化、生活の様子などについて学ぶことができた。講師の方々の温かいお人柄やファシリテーターの根本さんの情熱は子どもたちの心に大きな「思い」を与えてくれた。児童たちはその思いを心に刻み、「地球市民」としての第一歩を踏み出すことができたと思う。

・時期や時間的な制約や学校側の事情をよく理解していただき、計画を立てていただきました。もっと多くの時間をいただいて、一緒に遊んだり、会話をしたりして子ども一人一人との触れ合いを高めたかったと思う。

